

アート電子、事業の領域広げ地域貢献 電解水の生成機器販売、衛生管理サポート



安心安全な電解水に特化した給水器
除菌、消臭効果も期待

電子機器設計・製造の株

アート電子(周南市桜木1-27、資本金1,000万円、門馬芳幸社長)は、SDGsや地域貢献につながる衛生環境機器の取り扱いを始めるなど事業分野を広げている。新たな領域への進出は、企業成長の根幹になると捉える。

同社は、プリント基板やシステム制御関連機器などを設計製作。開発製品は鉄道、情報通信、医療など幅広い分野に供給、社会インフラの発展に貢献している。

昨年、SDGsに賛同し、持続可能な社会の実現への貢献を宣言。「環境に配慮しながら、地場の企業、地域の力になれる事業も手がけていきたい」と、地域貢献にもなる新たな成長分野として電解水生成機器の販売とメンテナンスを始めた。

機器は、コンセントと給排

水設備だけで使用できる電解水衛生環境システムなど。設置場所や用途に合わせて3機種を中心に販売している。

いずれも生成した「アルカリ性電解水」と「酸性電解水」で洗浄と除菌、消臭をする。

電解水の生成に必要なのは塩と水、電気のみでクリーンで人体に優しいのも特徴。門馬社長は「飲食店や食品加工会社、介護、福祉施設などに機器を普及させていくことで、地域貢献をしていきたい」と話している。

今後、電解水機器の開発の一端を担うことも想定される。門馬社長は「これまではつながりのなかった業種とも接点を持つ新たな取引、関係性が広がり、経産値、ノウハウを昇華させることになる」と利点を挙げる。